

## 富士山南麓における森林の復元活動

— 2012年の活動報告・2013年活動計画 —

自然再生活動部会／中村華子

当クラブでは2003年から、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を行っています。活動地は1996年9月に台風17号により人工ヒノキ林が風倒被害を受けた後、広葉樹林を再生しようとしている場所です。参加して下さっている方には活動の際にお話しているとおり、天然林を目指しているということは、(1) 自立した森林を最終目標に、(2) 多様性を高めながら、(3) 遷移を進めること を目的に管理・保育作業することが活動の目標となります。これからも「自然のしくみに学び、より自然のプロセスに近く、より人間の関与を少なく」を指針にしていきます。より一層、楽しく有意義な活動になるよう、みなさまと協力しながら進めたいと考えております。

2012年の活動報告と2013年の活動計画について報告いたします。

### 協定林について

場所：富士山国有林200林班 た小班4.56 ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」

「環境教育を目的とした活動」

協定期間：2008年6月－2013年6月（2008年に更新し、2期目）

### 2012年度活動実績（日程ごとの詳細は次頁の表に掲載）

活動日数 のべ20日間

参加者数 216人 うち会員41人 非会員175人

採取した種子の種類 2012年には ブナ、ホソエカエデ、オオイタヤメイゲツ、ヒナウチワカエデ、オオモミジ、アサノハカエデ、コミネカエデ、コブシ、マユミ、ゴマギ、アブラチャン、カマツカ、コクサギ、ツリバナ、ヒロハツリバナ、ミツバウツギ、ミヤマイボタ、ミヤマガマズミ、ガマズミ、ムラサキシキブ、ウツギ、ズミ 以上22種を採取しました。現地や会員宅、東京農業大学などで育苗し、現地に順次戻していく予定です。

### 2012年の活動について

2008年6月から5年協定の2期目に入りました。これまで様々な団体を受け入れて、植樹活動や自然観察会とそのためのインタープリター活動を行って参りました。活動を担当し案内役を担ってくださる会員各位はますますスキルアップして参りまして、今や本職（プロ）のインストラクターと間違えられるほどです。

昨期、2011年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生し、それに伴う地震・津波被害、さらに東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故が発生しました。そのような中、2011年は外部団体を受け入れての植樹活動や行事はすべて中止いたしました。幸い、2011年に受け入れを中止した団体は、2012年は活動を行いたいと申し出て下さいましたので、今年

は一緒に活動をさせて頂くことができました。

協定林では引き続き、ツタが木を覆ってしまったり、ササが林床に増え過ぎたりしないように現地を継続的に観察するとともに、植栽する樹種をさらに増やすこと、補植の場所を細かく計画することなど、よりきめ細かく高度な管理を進めていきたいと考えております。また各種団体の植樹活動・ボランティア活動の受け入れや環境教育への協力も進め、今後も活動の裾野を広げたいと思います。そのほか、富士山国有林で同様の活動をしている団体で構成されている「富士山国有林森づくり連絡協議会」への参加も継続し、関係諸団体と連携を取りながら、地域全体を見つめた活動を続けます。

2012年からは室村会員の発案により、小動物の調査も始まりました。まずは今年、手作りのえさ箱を設置して様子を観察してみたところ、なんと一年目にしてネズミの撮影に成功！来年はもう少し態勢を組んで、しっかり調査をしてみたいと考えています。こちらもみんなで楽しく取り組んでいきたいと思います。室村会員からの写真入りの観察記録は別途、報告が掲載されておりますので、そちらをご覧ください。

### 《2012年活動報告・日程ごと》

日程	開催形態・作業内容	参加人数	内訳	
			会員	一般
3月1日	NTT東日本本社にて ・NTT労働組合東日本総支部組織部との打合せ	1	1	
4月1日	現地打合せ・作業 ・4月、5月観察会のルート決定、現況調査	8	4	4
4月12日	若葉社にて ・俳句誌若葉（若葉社）との打合せ	1	1	
4月15日	現地打合せ・作業 ・4月、5月観察会のルート決定、現況調査	3	2	1
4月21-22日	<春の植樹活動と自然観察会・1> NTT労組東日本総支部の植樹ボランティア・自然観察会 75名受け入れ / 協力：東京農業大学（2名参加） ・山取苗を採取し、補植作業を行う ・自然観察会（富士山麓山の家周辺）インプリ活動 動物調査・第1回 えさ箱の設置を初めて行う	90	8	82
4月25日	現地調査・作業 / 動物調査 ツタ切りも行った	1	1	
5月12-13日	<春の植樹活動と自然観察会・2> 俳誌「若葉」の記念植樹・自然観察会 43名を受け入れ / 協力：東京農業大学（4名参加） ・山取苗等を補植 ・自然観察会（西臼塚）インプリ活動	59	6	53
6月10日	現地調査・作業 / マメザクラ種子採取	4		4
6月19日	現地調査・作業 / 動物調査 えさ箱の設置および観察	1	1	
7月28-29日	<夏の下刈り、密度調整作業> ・ススキ・低木下刈り、ツル切り作業	9	4	5
8月12日	現地調査・作業 / 動物調査 えさ箱の設置および観察	1	1	
9月22日	現地調査・作業 / 動物調査 えさ箱の設置および観察	1	1	
10月20-21日	<秋の種子採取活動・樹木観察会> ・種子採取 協力：東京農業大学（8名参加）	24	7	17
11月4日	現地調査・作業 / プナ堅果の採集	6	2	4
11月23-24日	現地調査 / 下刈り試験地調査 調査プロットの経過観察、毎木調査	7	2	5
合計人数		216	41	175

## 森づくりの活動評価<炭素吸収量>について

活動に参加して下さっているみなさまは、当初の一面のススキ草原から現在の低木林になったところを実際に見ていて、植生のボリュームが大きくなったことを実感して下さっていることと思います。そこで、私たちの活動している協定林がどのくらいの炭素を吸収しているといえるのか、2012年の実績を計算致しました。この計算値は林野庁の作成した幹の体積（材積）から計算する簡易な計算方法で計算したもので、実際に現地で測定した値ではありませんが、おおよその効果を判定することはできると考えられます。

静岡県から頂いた収穫表によると、10年生広葉樹林の材積は15 m<sup>3</sup>/ha、15年生では30 m<sup>3</sup>/ha、この間の年間成長量は3.0 m<sup>3</sup>/haだということです。

林野庁によると、森林吸収量は以下の計算方法を使って推定します。

### 吸収量（炭素トン／年）

＝幹の体積の増加量（m<sup>3</sup>／年）×容積密度（トン／m<sup>3</sup>）×拡大係数×炭素含有率  
幹材積は、樹木の種類と林齢がわかれば平均的な幹材積を調べることができる「収穫表」を利用して計算します。

以上の情報から計算した、静岡県に位置する山の自然学クラブ協定林での2012年の活動による炭素吸収量は以下の通りです。

### 富士山森林復元活動における、森林整備及び補植による年間炭素吸収量

作業内容：下刈り等保育（4.56ha）および広葉樹補植（2012年・400本）

1999-2000年に初期植栽（遷移の始まり）、2003年～保育作業＋補植を開始

場所：静岡県 林種：広葉樹人工林 2012年の林齢＝12年 補植本数＝400本

内容		年間固定量
林齢 12年（齢級3）	保育作業4.56ha	27.16791 トン
補植 広葉樹	樹高30cm×400本	1.90652 トン
炭素固定吸収量	上記2つの合計	<b>29.07443</b> トン



快晴！の富士山を背景に  
東京農大のみなさんと

## 《2013年活動計画》 ※詳しい日程は未定です

これまでに引き続き、季節に応じて年数回の現地講座と、1-2ヶ月に一度程度の部会活動を予定しています。現地講座では会員以外の方に多く参加していただき、森林再生の活動とともに自然観察会なども行います。また、引き続き各種団体の受け入れを積極的に行っていきたいと思います。会員の皆様にご協力いただきこれまでいくつかの団体を受け入れてきておりますが、活動の裾野を広げ、社会的認知を広める意義のあることと考えます。また私たちにとっても、勉強になり、新鮮な気持ちになれる、いい機会であると考えております。今後も会員各位のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

### <年間の主な活動内容>

- ・春前 - 芽生えの前に現地へ苗を持っていきます。冬期に荒れた林地の整備と地拵え
- ・春 - 植栽適期です。補植、挿し木などを中心に行います  
4月～5月 NTT労働組合のみなさんと植樹・自然観察会の予定
- ・夏 - 梅雨明けからススキ、ササ、ツタが一気に伸びますので、下刈りを行います
- ・秋 - 種子採取、山取苗の採集

### 他団体の活動受入予定 <2013年度予定>

#### ・NTT労働組合東日本総支部の社会貢献活動

組合員が参加する社会貢献活動の一環として自然保護活動を企画。2006年にボランティア推進委員で試行的に実施、2007年以降支部全体の行事として正式に受け入れております。

2011年は震災の影響で中断しましたが、2012年はこれまで通り受け入れさせて頂きました。2013年もこれまでと同程度の規模で受け入れできるよう準備します。

団体の受け入れだけでなく、個人で参加してくださる一般のボランティアの方が増加するように、今後ますます活動の周知、広報に力を入れていきたいと思っています。

---

### Yahoo!ボランティアの寄付増加にご協力お願いします

2007年度からYahoo!の「インターネット募金」に採用いただきました。下記のサイトで富士山森林復元活動への募金を掲載しています。引き続きご協力をお願いします。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

### 東京農業大学からの協力について

この活動で採取した種子の多くを、東京農業大学 治山・緑化学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。植栽用の苗木育成も一部お願いしております。そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートを頂いております。福永先生、橘先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝申し上げます。

### 一般財団法人セブン-イレブン記念財団の「地球温暖化対策助成」

2012年度は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団より「地球温暖化対策助成」の活動助成を頂きました。地球温暖化対策助成は2012年度に新設され、森林の保護・保全を通じたCO<sub>2</sub>削減活動を原則3年間継続して支援するものです。2012年より第1期の助成対象として選んでいただき、3年間継続して頂ける予定です。